

北海道情報大学学内報



平成8年度入学式

● 目 次 ●

新年度を迎えるにあたって・木下学長……………	2	通信教育部入学式……………	7
北の大地に知性の煌めきを・浅岡学生部長…	3	よろしくお願ひします……………	7
入学式・卒業式……………	3	新人生へインタビュー……………	7
ゼミナールちょっと拝見……………	4	教職員の動向……………	8
CLUB自慢……………	5	1月～5月主要行事……………	8
就職状況について……………	6	編集後記……………	8

発行・北海道情報大学
〒069 江別市西野幌59-2 TEL 011-385-4411 FAX 011-384-0134



新年度を迎えるに あたって

学 長 ^{きの}木 ^{した}下 ^{しげ}重 ^{のり}教

私はいま、3つの喜びを味わいながら平成8年度の新学期を迎えております。1つは、合計256名の潑刺たる新入生諸君を迎えた喜びであります。2つは、今年度から大学院・経営情報学研究科・修士課程が新設された喜びであります。3つ目は、大袈裟かも知れませんが、しばらく中断されていた北海道情報大学学内報が再発行されることになった喜びであります。

学内報は教職員および学生諸君のコミュニケーションをはかることを目的に発行されたもので、平成元年11月10日に創刊号が出ております。その後月1回を原則に発行を続けてきましたが、平成6年第39号を最後に中断されて今日に至りました。

この度、平子玲子先生(委員長)、および大島佳代子先生、伊藤公紀先生が編集委員を引き受けていただくことになり再発行されることになりました。誠にありがたく、喜びに耐えないところであります。広報を通じて教職員、学生間の交流が進み、本学の活性化に貢献されることを願ってやみません。

次に大学院の新設について、その抱負を述べさせていただきます。ご承知のように、大学院は大学における学術研究の推進と、学術の研究者および高度の専門知識を有する人材の養成が目的であります。

学術研究の著しい進展、社会経済の急速な変化を反映して最近大学院の重要性が一層増大し、社会の期待も高まりつつあります。

本学は、以上の社会的要請と期待に応えるために経営情報学に関する大学院研究科(修士課程)を設置し、専攻分野を次の4つの系列に分けて経営情報学の発展に寄与したいと考えています。

- ① 経営管理学系列 ② 会計管理学系列
 - ③ 情報システム学系列 ④ 情報処理学系列
- 学生諸君の中で将来研究者になりたいと思って

いる人、あるいは、中広く高度の知識を身につけて社会のリーダーとして、また起業家として活躍したい人は是非大学院で学ぶことを考えて下さい。

大学院は、系列の学問を通して研究を進めるためには、どのように問題をとらえ、どのように勉強し、どのようにして問題を処理・解決するかなどを体験的に学ぶところであります。そうしてこのことは、社会人になったときに非常に役に立つ体験だと思っています。

大学院は大学にとって大きな励みであり、院生と学部生との交流が進むことによって、大学全体が活性化促進されると信じて疑いません。今後さらに博士課程を増設し、大学院の充実をはかり、情報社会の先駆者としての本学の発展に微力を尽くす所存であります。

20世紀も余すところ4年となりました。新入生諸君が卒業するとき、まさに21世紀を迎えるのであります。しかし日本の前途は必ずしも明るいとは言えないのであります。長い間続いた経済繁栄の影にいろいろな病弊がはびこり、これらを解決して立直しをはからない限り、日本の新世紀の発展はないといわれています。

私はもはや皆さんのように、これからの新しい世紀を背負って行くわけにはいきませんが、諸君が学ぶにふさわしい大学の環境を造る役割だけは果たさねばならないと思っています。

私は今まで自由と調和を理念として大学の運営に当って参りましたが、今後もこの方針で進みたいと思っています。どうか諸君、自由と博愛・調和の精神ですこやかに本学における4年間を全うし、21世紀に雄飛されんことを祈ってやみません。

(1996.5.15)



北の大地に知性の煌めきを！

学生部長 浅岡 顕彦

希望と期待に満ちて入学して一か月余り、毎日の講義や課外活動のなかで自分が情報大生であることを実感されていることと思います。合宿研修では、ダイジェスト版で大学と学生生活を紹介しましたが、その時の諸君は驚くほど活動的で、若さと躍動感に満ちていました。青春のエネルギーをみたような気がして、感銘さえ覚えたことを記憶しております。

求めて学窓に入った諸君に、今ここで、入学式の折に学長が告示で特に強調された「知性」について考えて頂きたい。私も日頃改めて「知性」とは何か?などと思慮をめぐらせることも無いのですが、学長は、「知性」とは知識を行動に生かしていく力であり、おそらくは諸君が将来へ向けて最も必要とする資質である。従って、これからの4年間を通して「知性」の獲得を目指して努力して欲しいと述べられた様に思います。

知識は講義などの他、様々なメディアを通して修得できます。しかし、「知性」は日々の実践過程の中から自らが獲得していくものです。その実践こそが修得した知識に生命を与え、諸君の表情をそれまでとは違った自信に満ちたものに変えていくことでしょう。日々の実践とは、先ず第一に授業に出席することです。次いで課外活動や大学の行事、様々なボランティア活動などに積極的に関わっていくことです。そうすることによって大きな充実感や喜びが得られる反面、さまざまな疑問や軋轢も生じてきます。そこでそれらを解決する道を模索することになりますが、迷い、悩み、格闘しながら、友と語り、先生方との交流を通じて得たものが知識と一体化して自己の資質に転化していきます。それは諸君にとっては自己変革であります。私達教員の目には学生が輝いて映るようになり、そうした変化を進歩・成長と認識することになります。

今、大学の周辺は若葉から濃い緑に変わりつつあります。四季折々に移り変わる北国の豊かな自然の景観に恵まれたキャンパスのなかで、諸君の若い感性に触れながら、「知性」の煌めきを感知し続けたいと考えております。

◆◆ 平成8年度 入学式を挙行 ◆◆

4月8日(月)午前10時より本学体育館において、平成8年度の入学式が行なわれた。

経営学科128名、情報学科128名、計256名の学部学生と、新しく平成8年4月から開設された大学院経営情報学研究科(修士課程)の学生4名の新入生が、多数の父兄と共に緊張した面持ちで式に臨んだ。

式は開式の辞ではじまり木下学長の告辞、祝辞、祝電披露、教員紹介が行なわれたあと新入生を代表して経営学科の旭伸崇君が大学生活への期待と決意を力強く宣誓した。



宣誓する新入生

◆◆ 第4回 卒業式 ◆◆

去る3月21日(木)午前10時30分より、第4回(平成7年度)の卒業式が本学体育館において挙行されました。

今年の卒業生は、経営学科105名、情報学科101名、計206名であった。

式は、開式の辞ではじまり卒業証書は、経営学科代表、梅戸貴子さん、情報学科代表、尾崎広介君に手渡された。

学長の告辞に続いて卒業生を代表して経営学科の早川裕之君が卒業生答辞で、北海道情報大学の卒業生であることを誇りとして21世紀社会へ向かうに当たっての決意を述べ果立っていった。





中岡ゼミナール

4年 三本 正行

中岡研究室では現在、私たちの研究室の先輩方が今までUNIXワークステーション上で開発してきた数値地図表示システムをインターネット上に公開すべく、Javaという全く新しい言語を使い数値地図表示システムを移植し「Carte」という名前をつけて全世界にむけて公開しています(アドレスは<http://carte.do-johodai.ac.jp>です)。

この「Carte」システムはソフトバンクから発行されているインターネットユーザーにも取り上げられ、様々な大手企業(東芝情報システム、日本電気、富士通、三菱電気、日立など他多数)、学校、個人が見にきています。しかし、現在のところこの「Carte」システムには次のような課題があります。(1)現在はJavaが日本語に対応していないので、ローマ字あるいは英語での表示しかできない。(2)処理速度が遅い。(3)まだ札幌地区のデータしか用意されていない。これらの問題点を解決すると同時に、これからの当面の目標として、地図データ・付加価値情報の拡充、データ検索機能の追加、地図データや付加価値情報のデータベースサーバによる一括管理などを実現するために日夜研究に励んでいます。また、この研究に関連する分野(ネットワークやオブジェクト指向プログラミング、データベースなど)の研究なども行なっています。



大島ゼミナール

「我が愛しき大島ゼミ」 4年 K氏談

皆さんこんにちは!!

私たちが所属している大島ゼミは、とにかく長い。2:30にはじまるはずが、3:30からはじまり、早くて、ドラゴンボールZが終るころ、そして、おそい時は、なんと!!なんと!!X-ファイルがすでに終わっています。

なぜ、そのような時間までかかるかという、とにかく、一つの問題が、いつのまにやら、ネズミ講方式で100ぐらいになるからである。しかし、我ら大島ゼミ員は、それにめげることもなく、グチをこぼすこともなく、さらには、サボルことすらしない。それは、ひとえに、大島 カヨコ先生の、あつい情熱のたまものである。皆さんに理解しやすいようにたとえるのなら、マスゾエ ヨウイチにかみついていく、タジマ ヨウコのようなものである。

さあ、ここからは、私(K)が一年間、大島ゼミで学んできた感想を書きましょう。皆さん思うかべてください。頭に『ア』のつく……有名入!! それは、ジョウダンとして、憲法の講義とはちがひ、自ら、判例を用い、自分なりの考えをつきつめていくことは、なかなかどうして、おもしろいものです。はじめは、とっつきにくいものですが、さすがに一年もたつと、今では、手なれてきました。また、ゼミ員同志で、判例についてのディスカッションをすることにより、憲法を通じて、物事を一面的でなく、多面的に見る力がついたんだ!!と、きつといつか思うでしょう。

皆さん、これを読んで、大島ゼミの事が、わかりましたか。

DO YOU UNDERSTAND?





サッカー部

情報大学サッカー部の目標

主将 三田村 悟

我々サッカー部は、現在北海道学生リーグの三部に所属しております。三部リーグというのは一番下位のリーグで、残念ながら情報大学創立以来三部以上のリーグに昇格したことがありません。確かに他の大学に比べると学校の施設や学校側の部活動への理解度などに劣っている点も少しありますが、それだけが二部昇格を妨げている原因ではなく、部員一人一人のサッカーに対する考え方や姿勢などにも問題点は多く存在しているのです。今年はその問題点一つ一つの改善を目指し、それだけではなく技術面でも更なる向上とその努力によって人間的にも成長するように部員、マネージャーの気持ちを一つにして、我々の一番の目標である二部昇格を目指し、サッカー部の将来を明るくものにしようと思っております。



Art-Club

3B2 長谷川 徹

大学生活の中で学ぶにせよ、遊ぶにせよ、最大限に自分たちの可能性を試してみたい、そのように考えるサークルが私たちArt-Clubです。

ですからArt-Clubは広い意味での文化系サークルを目指して活動しています。

好奇心旺盛にどんな事にも挑戦してみたい、美味しい物があれば食べてみたい、流行が来るなら乗ってみたい、春だから恋したい、私たちは日々なにかに打ち込んでいます。

現在の部員数は総勢30名を越え、各部員の具体的活動内容も多岐に亘ります。95年の冬には自費で札幌市雪祭り市民雪像制作に参加しました。部員たちによる創作をまとめた会報誌「Movement」の発行も随時おこなっています。

とにかく「センス・オブ・ワンダー」と自由な発想で、私たちArt-Clubの活動は広がりをもせてゆきます。

図書室にArt-Clubの会報誌「Movement」が置いてありますので、どうぞ一度ごらんになって下さい。

次回の原稿締切りは6月26日ですので、興味をおもちの方はArt-Clubの部室の方におこしください。



CLUB自慢のコーナーでは、原稿を募集します。クラブ紹介や、部員募集に活用して下さい。但し、発行回数に限りがある為、掲載出来ない場合もありますのでご了承下さい。

詳しくは図書室まで。



平成8年3月卒業者の就職状況について

就 職 課

平成8年3月卒業者の就職状況は次表のとおりです。

昨年は「超氷河期」と表現される程の悪条件でしたが、幸い本学に対する求人状況も件数では前年に比し2桁の増加率をみ、特に道内企業が増加しました。業種別では「ソフトウェア」関係をはじめ全体に増加しました。その結果前年に近い就職率となりました。ただ、“単位の習得状況が思わしくないの”として就職活動をしなかった学生が見受けられたのが気がかりでした。

引き続き就職難と言われていますが、せめて「超」の文字は消えるものと期待しております。4年生諸君の健闘を祈ってやみません。

■平成8年3月卒業生の主な就職先

- ・青森キャンノンビジネスマシーンス(株)
- ・(株)伊藤園
- ・(株)イワキ
- ・岩見沢商工会議所
- ・宇宙技術開発(株)
- ・カラカミ観光(株)
- ・(株)木の城たいせつ
- ・(株)コスモグラフィック
- ・(株)札幌ネクシス
- ・(株)シスコム
- ・システムコンサルティング(株)
- ・(株)芝通
- ・市民生協コープさっぽろ
- ・ジャスコ(株)
- ・(株)スハラ食品
- ・そらご電器(株)
- ・(株)竹山
- ・中国電子計算機専門学校
- ・(株)つうけん
- ・九十九電機(株)
- ・(株)電子開発学園
- ・中道機械(株)
- ・(株)ニトリ
- ・日本アルゴリズム(株)
- ・日本食研(株)
- ・日本情報通信(株)
- ・日本生命保険相互会社
- ・日本電信電話(株)
- ・長谷川産業(株)
- ・はるやまチェーン
- ・(株)パレオ
- ・東日本ハウス(株)
- ・北星情報処理開発(株)
- ・北鮎水産(株)
- ・北海道キャタピラー三菱建機販売(株)
- ・北海道セルラー(株)
- ・北海道ゼロックス(株)
- ・北海道ダンロップ販売(株)
- ・北海道電子計算機専門学校
- ・(株)北海道ニチイ
- ・北海道ビジネスオートメーション(株)
- ・北海道リコー(株)
- ・芽室町森林組合
- ・(株)モロオ
- ・(株)ラルズ
- ・ユニバーサル電子計算(株)

■平成8年3月卒業者就職状況

	経営学科	情報学科	全 体
卒 業 者 数	114(22)	113(20)	227(42)
就 職 希 望 者	97(19)	100(17)	197(36)
就 職 決 定 者	89(16)	91(17)	180(33)
就 職 率	91.8% (84.2%)	91.0% (100.0%)	91.4% (91.7%)

()内は女子内数

■平成8年3月卒業者 出身地・勤務地比較

	道 内	道 外	計(対象人数)
出 身 地	58.3%	41.7%	100%(235人)
勤 務 地	69.4%	30.6%	100%(180人)

■業種別就職状況一覧表

	経営学科	情報学科	計
サ ー ビ ス (内:情報産業)	12名(13.5%) 2名(2.2%)	34名(37.3%) 24名(26.4%)	46名(25.6%) 26名(14.4%)
卸・小売・飲食	47名(52.8%)	31名(34.1%)	78名(43.4%)
製 造 業	16名(18.0%)	8名(8.8%)	24名(13.3%)
建 設 業	5名(5.6%)	6名(6.6%)	11名(6.1%)
運 輸 ・ 通 信 業	1名(1.1%)	5名(5.5%)	6名(3.3%)
金 融 ・ 保 険 業	2名(2.2%)	4名(4.4%)	6名(3.3%)
公 務 員	3名(3.4%)	1名(1.1%)	4名(2.2%)
そ の 他	3名(3.4%)	2名(2.2%)	5名(2.8%)
合 計	89名(100%)	91名(100%)	180名(100%)

◆◆ 第3回通信教育部入学式挙行 ◆◆

平成8年4月12日(木)、北海道情報大学通信教育部の3回目の入学式が挙行されました。会場は、本学会場として北海道情報技術研究所、次いで札幌、新潟、名古屋、大阪、広島、北九州、福岡、大分、鹿児島各教育センター及び、仙台、水戸、千葉、静岡、名古屋、兵庫、岡山の各教育サブセンターの全国17カ所です。午前10時に入学式が始まり、昼食(茶話会)、オリエンテーションをはさんで午後2時30分終了というスケジュールでした。入学式とオリエンテーションは研究所からその様子を放映し、通信衛星を介して各会場でそれを受信することで行われました。

本学会場の北海道情報技術研究所では、正科生Aの学生が集まりました。平日にもかかわらず、仕事を都合して出席した社会人の学生の方もいた

ようです。入学式終了後は研究所の見学を行い、その後バスで移動して、今度は大学を見学しました。見学後は再び研究所へ移動して、学生のみなさんと木下学長、三枝学部長、大野通信教育部長等、教員との昼食のお弁当を囲んでの茶話会です。食事をしながら、さまざまな意見や質問が出ました。食事の後はオリエンテーションが行われ、これから4年間の大学生活の説明を受けていました。オリエンテーション終了後も、新たに知り合った人たちと、同じ大学生として話がはずんでいたようです。



☆ よろしくお願ひします!! ~ 新入職員紹介 ~ ☆

石田 英弘さん



今年、本学を卒業し法人本部の経理課に配属となりました。在学中は、主に企業経営における戦略の基礎理論や、その知識を基にした企業の経営戦略について勉強してきました。まだ、仕事を始めてわからないことばかりですが、これから一所懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

対馬 聡子さん



就職課に配属になったと聞いた時は、私にちゃんと勤まるだろうかと、自信がありませんでしたが、どうにかやってこれました。今後「対馬さんに就職のことで聞きたいことがあるんですけど」と言われる様になるのを目指して頑張りたいと思います。就職した当初言われた、「就職課で良かったね」という言葉に今、素直に頷けます。

西部 大嗣さん



私は、通信教育部に配属になりました。風連町の生まれで現在は、厚別区に住んでいます。趣味は音楽鑑賞や読書などで、とくにB'ZやKixなどの曲をよく聞きます。また、ドラムやギターも若干できます。今後、自分が今できる事を確実にこなし、皆さんのお役にたてるよう頑張っていきたいと思っています。



※僕たち二人は、春咲く花とみつばちさ...

1-A2 安川 智巨

私にとって今年、最も重大な出来事は、情報大に合格し、入学したことである。一期試験ではことごとく敗北。特に北星の社会福祉は、2点足りないという状況であり悔しい思いをし続けた。そして二期でここに合格した。

今まで眼中に無かった学部なのでコンピュータなど素人丸出しであり、数学の授業も既に挫折したという噂もある。しかし7月1日で20歳になる俺は、やっぱり勉強頑張んなきゃと思うんだわ。今まで19歳で、19って数は2でも3でも割り切れない半端な数でどこかしら自分の心も半端だった。でも俺は、夕日に向かって「神様、今後僕はマジで頑張るよ」と心の中で叫んだ。昼休みは図書館で勉強してる人の横で剣道をやったり、家では夜遅くまで机に向かい剣道をやってますってなんでだよ。(ごめんね面白くなくて)再び吉本の舞台上で脚光を浴びたいと思う日々さ。

◆◆ 教職員の動向 ◆◆

☆ 大 学 ☆

◇教員人事◇

3月31日付退職
教授 河西 章(定年)
教授 小田中敏男(定年)
教授 澁谷 壽一

4月1日付採用
特任教授 河西 章
特任教授 小田中敏男
4月1日付管理職
大学院研究科長 眞野 脩

4月1日付昇任
助教授 梅津 真
助教授 約仕憲一郎
助教授 福田 都代

◇職員人事◇

4月1日付採用
事務局就職課 対馬 聡子
通信教育事務部 西部 大嗣
4月1日付異動
大学院課長兼務 寺川 信也
大学院課学生課兼務 高田かおり
大学院課兼務 中村 正志
4月1日付転出
通信教育事務部 石後岡 学(HCSへ)

☆ 法人本部 ☆

◇職員人事◇

3月31日付退職

東京事務所 横田 佳子

4月30日付退職
総務課 豊田 康司
4月1日付採用
経理課 石田 英弘

◆◆ 1月～5月主要行事 ◆◆

1月8日(月) 新年交礼会
11日(木) 授業開始
19日(金) 教授会
2月4日(日) 一般一期入学試験
9日(金) 教授会
13日(火) 大学院入学試験
15日(木) 大学院合格発表
16日(金) 一般一期合格発表
3月1日(金) 教授会
5日(火) 一般二期入学試験
14日(木) 一般二期合格発表
15日(金) 教授会
21日(木) 卒業式
23日(土) 父母と教員との懇談会
4月5日(金) 教授会
8日(月) 入学式
9日(火) 新入生合宿研修
10日(水) 〃
12日(金) 通信教育部入学式
25日(木) 学内報編集会議
5月17日(金) 教授会

編集後記

約2年半の間お休みをしていた学内報、このたびリフレッシュして(それもカラー印刷という豪華版!)再登場です。“ななかまど”の名称は、我が大学の樹がナナカマドであるというところから編集委員の意見がまとまりました。大学の門から校舎への道にはナナカマドが植えられていて、秋から冬になると紅の実をつけ、白い世界をバックに鮮やかです。

リニューアル第1号の内容は新年度を迎えて行われた数々の行事についてが中心です。今年度からは大学院(経営情報学研究科)が設置されスタートを切りました。学部・通信教育部と合せて本大学の発展を祈りたいものです。

今春は残雪が多いため予定していた山行が中止となり、夏山登山しかできない私は悔しい思いをしています。早く山へ行きたいな――。

ななかまどへの御意見・御提言などありましたら編集委員(平子・大島・伊藤・図書室の3名)へどうぞ。
(T)

北海道情報大学学内報

「ななかまど」第1号

発行日 平成8年6月10日
発行 北海道情報大学
編集 学内報編集委員会